

作っ たゾ!

おもちゃ弁当がホンモノに

福生 弥生保育園で再現し提供

福生市加美平の「弥 事長」で毎年恒例の生保育園(高山佐代)「お店屋さんごっこ」子園長、津島知津子理が開催され、園児がさ



まざまな店舗と商品を出店。園児が食べたいと考えるおもちゃで作ったお弁当を、調理スタッフが本物のお弁当に再現して昼食で提供する試みも初めて行われた。

同園では毎年、園児が「どんなお店を出したいか」を考えて、商品も作り上げるイベントを実施。今年がゲームやスイーツ、ペットショップ、アクセサリの店舗が並び、銀行のATMからカードを受け取り、各店舗で買い物体験した。

園児はまず、園児が行員を務める銀行のATMから各店舗で使えるカードを受け取り、店舗が並ぶ会場へ。店員の園児が「いらっしゃい」

「やーい」、「おかわりありますよ」、「お金を出してください」と元気な声で客を呼び込んだ。

お弁当屋さんには紙や折り紙で作ったエビフライやナポリタン、シューマイ、おにぎりの弁当を製作し写真上。このお弁当を調理スタッフが実物で再現した写真下。栄養士の前田房枝さんは「エビフライはアレルギーもあるので、魚肉ソーセージで代用し、試食を重

ねて再現しました。子どもたちの気持ちに寄り添ったお弁当にしよう」と準備しました」と話す。園児が喜びそうな弁当が完成し昼食に提供された。

高山園長は「子どもたちがやりたいお店を決めて、実際に買い物も体験する。お弁当は子どもたちの思いを再現するという、食育の一環として企画しました」とし、「コロナ禍で先生たちも子どもたちのことを一生懸命に



お知らせ 12月24日号は休刊です

次号は

新年特別
合併号

1月1日発行
です

言録してを復原した
同チームの監督でア